

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和3年度 第1回高松市文化芸術振興審議会
開催日時	令和3年8月18日(水) 19時00分～21時00分
開催場所	高松市役所 13階 大会議室
議 題	(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について (2) 高松版文化芸術プラットフォームの構築について (3) その他 今後のスケジュールなど
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	議題(2)は、市の機関の内部における検討に関することであり、高松市情報公開条例第7条第4号に該当するため。
出席委員	金川委員、鹿庭委員、北岡委員、島田委員(副会長)、多田委員、田中委員、橋本委員(会長)、三木委員、若井委員 計9人 (欠席6人 青山委員、甘利委員、鎌田委員、木ノ下委員、林委員、水嶋委員)
傍 聴 者	0人 (傍聴席4人程度を確保)
担当課及び連絡先	高松市文化芸術振興課 087-839-2636

審議経過及び審議結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。</p> <p>冒頭、高松市文化芸術振興審議会規則第2条第2項の規定に基づき、委員の互選により、橋本委員が会長に選任された。</p> <p>会長は、同条例第2条第2項の規定に基づき、島田委員を副会長に指名した。</p> <p>また、審議会の公開・非公開について審議がなされ、議題(2)「高松版文化芸術プラットフォームの構築について」は非公開の決議がなされた。</p> <p>(1)高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について 令和元年5月に策定にされた「第2期高松市文化芸術振興計画」に掲げる事業の取組状況について事務局から説明し、次のとおり意見があった。</p> <p><屋島山上交流拠点施設整備事業について> (委員) ・屋島山上交流拠点施設の管理、運営に関しては指定管理者が行うことになるのか。 (事務局) ・現時点では、指定管理者が行う想定である。</p>

(委員)

- ・この事業の担当は観光交流課観光エリア振興室となっているが、文化芸術振興課も関わっていくのか。

(事務局)

- ・文化芸術の推進に関して、魅力的な場所であり、音楽やパフォーマンス等の場として活用することも考えられる。

(委員)

- ・具体的な完成はいつ頃になるのか。

(事務局)

- ・建物の完成は来年5月頃を予定している。
しかし、パノラマ展示室にパノラマアート作品を設置するために期間を要するため、パノラマ展示室を含めた完成に関しては、瀬戸内国際芸術祭2022の秋会期に間に合うよう目指している。

(委員)

- ・パノラマ展示室以外は5月頃から利用可能か。

(事務局)

- ・流動的な要素があるため未定である。

<芸術士派遣事業について>

(委員)

- ・令和2年度の43施設から令和3年度は73施設に増えているが、予算は増額となっていない。従来の予算で本事業を実施することができるのか。

(事務局)

- ・令和2年度は、1つの施設に年間40回程度芸術士の派遣を行っていた。令和3年度に関しては、1つの施設への派遣を半分の年間20回程度とし、より多くの施設に派遣を行えるようにしている。
施設数は増えたが、年間の実施回数に関しては増加していないため、令和2年度と同じ予算で令和3年度も実施することが可能である。

<文化奨励賞受賞者記念披露事業（仮称）について>

(委員)

- ・文化奨励賞の新人部門受賞者の瓦町アートステーションでの成果発表は義務的なものなのか。

(事務局)

- ・文化奨励賞の新人部門受賞者に対する副賞のようなものと想定しているので、義務的なものではない。

(委員)

- ・文化奨励賞新人部門受賞者の成果発表に関して、受賞者の文化芸術の分野は多種多様であり、瓦町アートステーションでの成果発表が適さない場合、サンポートホール等、他の場所での成果発表について想定しているのか。

(事務局)

- ・現時点では、サンポートホール等での実施は検討していない。
しかし、奨励を受けた方の活躍を考えると、発表の場の創出は必要であるので、まずは瓦町アートステーションを活用し、その状況を確認した上で、他の場所の使用に関しても検討していきたい。

<高松市文化奨励賞について>

(委員)

- ・香川県であれば、香川県美術展覧会（県展）があるが、高松市も文化奨励賞の前段階として、例えば高松市展覧会といったような形で、広く作品を集めて、市民に文化芸術に触れてもらう機会の創出するような計画はあるのか。

(事務局)

- ・現在は検討していない。
ただし、アーツフェスタたかまつの中で、高松市美術協会の方々による美術展は開催されている。

<こども未来館学習の実施、こども未来館体験教室等の開催について>

(委員)

- ・令和2年度と比べ令和3年度のこども未来館学習の実施、こども未来館体験教室等の開催の予算が約2倍となっているが、その根拠は何か。

(事務局)

- ・後日、回答を行う。

<高松市文化芸術ホール大規模改修について>

(委員)

- ・サンポートホールが大規模改修になることにより休館する。その間、文化芸術事業に関してアウトリーチを検討しているのか。

(事務局)

- ・サンポートや商店街、玉藻公園等、ホールの中以外にも文化芸術の推進に適した場所は多くあるので、そのような場所の活用は検討している。

<こども未来館公募等プログラム等について>

(委員)

- ・こども未来館公募等プログラム等について、令和2年度決算額が0円となっているが、新型コロナウイルス感染症の影響か。

(事務局)

- ・御認識の通り。

<高松型学校運営協議会について>

(委員)

- ・高松型学校運営協議会の課題に、講師となる地域人材の確保に困難を感じている学校があるとあり、その解決策としてコーディネーターのような人材を立てられれば円滑に行えるのではと考える。

(事務局)

- ・議題2の高松版文化芸術プラットフォームを、その役割も担えるものにしていきたいと考えている。
詳しくは議題2において説明する。

<まちなかパフォーマンス事業について>

(委員)

- ・新県立体育館が完成することによって、大型テント広場がなくなり、現在サンポート付近で行っている高松ミュージックブルーフェスを始めとした野外イベント会場がなくなることになるが、今まであった賑わいを保つため、何か検討していることはあるのか。

(事務局)

- ・イベントの開催場所として、屋島山上や玉藻公園等、新たな場所に目を向けて賑わいを保つことは重要であると考えている。

(委員)

- ・野外イベントは、地域の文化と対比させたこの土地独自の風景として貴重であるので、そのためのスペースを残してほしい。

<高松国際ピアノコンクール、瀬戸内国際芸術祭について>

(委員)

- ・コロナ禍での、高松国際ピアノコンクールや瀬戸内国際芸術祭の開催について現状はどのようになっているか。

(事務局)

- ・高松国際ピアノコンクール、瀬戸内国際芸術祭ともに実施する方向で関係団体と協議及び準備を進めている。
しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、先の状況が見通せないため、現時点では予定通り実施できると断言することはできない。

(2)高松版文化芸術プラットフォームの構築について

非公開

以上